

新収蔵品展

—民俗写真の先駆者・芳賀日出男による
写真作品を中心に—



芳賀日出男「粉種を蒔く」1956年

会 場 高浜市やきものの里かわら美術館

と き 1月2日(月)～2月12日(日)

高浜市やきものの里かわら美術館では、平成22年度に写真作品40点、絵画作品7点を新収蔵しました。本展では、これらの新収蔵品を初公開します。

展示の中心となる作品は、芳賀日出男による奥三河の「花祭り」を捉えたドキュメンタリー写真であり、氏が1960年代より撮りためてきた、神事から鬼の舞まで祭りの全貌が記録された写真群です。柳田國男が「日本人にとっての祭りの起源」と評価した「花祭り」。芳賀日出男が切り取った猛々しく切迫感のある写真を展示します。

このほか、平成22年度に寄贈された絵画作品として、名古屋の前衛芸術家・堀尾実による和洋の葛藤から生まれた日本画4点と、同じく名古屋出身で現在も活躍中の画家・久野和洋による清涼感漂う油彩画3点を展示いたします。あわせて、平成20年度に収蔵し、修復作業を終えた地元ゆかりの画家・大澤鉦一郎の油彩も初公開いたします。

観覧時間 午前9時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

観 覧 料 高校生以上200円(160円)、中学生以下無料
※()内は高浜市内在住者および20人以上の団体料金

休 館 日 月曜日(1月2日、9日は開館)、1月10日

関 連 行 事

■講演会「写真家・芳賀日出男の活動の軌跡と花祭りについて」

内 容 これまでの写真家としての活動の軌跡や、本展で展示している作品「花祭り」シリーズについて、1960年代から追いかけてきた花祭りの姿、魅力、役割、変遷など

と き 2月5日(日) 午後2時～4時(予定)

講 師 芳賀日出男氏(写真家)

参加費 無料

定 員 50人(先着順)

申 込 1月7日(土)午前9時より電話にて受付

■学芸員によるギャラリートーク

と き ①1月22日(日) ②2月11日(土) いずれも午後2時～

参加費 無料(ただし当日観覧券が必要)